

呉工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	ドイツ語
科目基礎情報					
科目番号	0038		科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	建築学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	齊藤公輔『どいちゅ』朝日出版社、2016年				
担当教員	西谷 明子				
到達目標					
1. 日常で使える会話を習得する。 2. 動詞、形容詞、前置詞を適切に使うことができる。 3. 辞書を使って簡単な文章を読み、作文することができない。 4. 辞書を使って簡単な文章を読み、作文することができる。 5. 動詞の三基本形を使いこなす。 6. 中級文法を覚える。 7. 辞書を使って簡単な読み物を読み、作文することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	日常で使える会話を習得できる。	日常で使える会話がある程度習得できる。	日常で使える会話ができない。		
評価項目2	動詞、形容詞、前置詞を適切に使うことができる。	動詞、形容詞、前置詞を使うことができる。	動詞、形容詞、前置詞を使うことができない。		
評価項目3	辞書を使って簡単な文章を読み、作文することが適切にできる。	辞書を使って簡単な文章を読み、作文することができる。	辞書を使うことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)					
教育方法等					
概要	初級ドイツ語文法と簡単な日常会話を習得する。中級への架け橋となる文法事項についても学び、簡単な読み物が読めるようになる。またドイツあるいはヨーロッパの文化や歴史についても理解を深める。				
授業の進め方・方法	教科書及び付属のCDを用いた講義と、ペアワーク。				
注意点	授業には毎回必ず辞書を持参すること。授業中でも授業後でも、質問があれば受け付けます。ペアワークへの積極的な参加を求めます。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	4年時の復習、Lektion 2-F	3・4格目的語の用法の復習	
		2週	Lektion 3-A 会話	分離動詞の使い方が理解できる	
		3週	Lektion 3-A 練習	場所を表す前置詞の使い方が理解できる	
		4週	Lektion 3-B 会話・練習	話法の助動詞 können を使った会話ができる	
		5週	Lektion 3-E 会話	4格支配の前置詞の使い方が理解できる、Sieに対する命令形を作文できる	
		6週	Lektion 3-E 練習	道案内の会話ができる	
		7週	中間試験		
		8週	答案返却・解答説明		
	2ndQ	9週	Lektion 3-F 会話・練習	話法の助動詞 wollen を使った会話ができる	
		10週	Lektion 6-A 会話・練習	非人称の es、2格支配の前置詞の使い方が理解できる	
		11週	Lektion 6-C 会話	話法の助動詞 müssen、再帰動詞・再帰代名詞の使い方が理解できる	
		12週	Lektion 6-C 練習	興味のあることについて質問できる	
		13週	Lektion 6-D 会話	過去人称変化が理解できる	
		14週	Lektion 6-D 練習	過去時制を使った会話ができる	
		15週	期末試験		
		16週	答案返却・解答説明		
後期	3rdQ	1週	前期の復習、Lektion 6-E	現在完了形 (haben 支配) が理解できる	
		2週	Lektion 6-E 会話	現在完了形を使った会話ができる	
		3週	Lektion 6-F 会話	現在完了形 (sein 支配) が理解できる	
		4週	Lektion 6-F 練習	昨日のことについて会話できる	
		5週	現在完了形の復習	ドイツ語の時制の基礎が理解できる	
		6週	Lektion 5-A 会話	形容詞の語尾変化について理解できる、ドイツの祭りについて知識を深める	
		7週	Lektion 5-A 練習	色についての会話ができる	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	答案返却・解答説明		
		10週	Lektion 5-B 会話	比較級について理解できる	
		11週	Lektion 5-B 練習	比較級を使った会話ができる	
		12週	Lektion 5-D 会話	最上級について理解できる、ドイツの祭りについて知識を深める	
		13週	Lektion 5-D 練習	最上級を使った会話ができる	

		14週	まとめと復習	年中行事や暦についてドイツ語で紹介できる
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解答説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解 世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	前2

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0